

ゆめごよみ風だより 93号

つうかん
KSKP通巻11801号 2020年12月5日 発行

へんしゅうにん とくていひ えいりかつどうほうじん かぜききん じむきょく おおさかしひがしよどがわくひがしなかにま
編集人 特定非営利活動法人ゆめ風基金事務局(〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-13-43-106)

TEL 06-6324-7702 FAX 06-6321-5662

巻頭言

「ゆめ風基金、これからもよろしくお願ひします」 理事 細井 清和

ゆめ風基金の理事の細井と申します。普段は、「障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議

(略称：障大連)」という長つたらしい名称の団体で仕事をしています。障大連は、大阪府内約90の

障害者団体から成り立っていて、行政に対する政策提言(交渉)や障害者団体の共通認識づくりのため

の取り組み(セミナーや連続研修会の開催)、事業や課題ごとの取り組みを行っています。(ヘルパー

派遣事業、グループホーム、自立支援、施設・地域移行、交通アクセスなど)。

僕自身は、2014年に亡くなられた楠 敏雄さん(元障大連代表)に紹介されて、ゆめ風基金の理事に

なりました。もともと、1995年の阪神淡路大震災の時に被災された障害者を大阪で受け入れる取り組みな

どで関わりがありました。ゆめ風基金では、被災地での障害福祉事業の支援を担わせていただいています。

ずいぶん長く障害者と関わってきたのですが、僕が活動を始めた1970年代の半ばは、今のような

サービス制度がほとんどなく、介護も「ボランティア」が中心でした。障害者のみんなが安心して地域で

生活できるようにみんなで、行政に制度要求を積み重ねてきました。今現在、制度はまだまだ不十分な

点も多く残されていますが、その当時と比べると、障害福祉のサービスはずいぶん「発展」し、多くの

障害者の生活がこのサービスによって支えられていると思います。

今回の巻頭言では、障害福祉事業を行っている団体の皆さんに、もっと、ゆめ風基金に参加していただ

きたいと思ひ、メッセージを送りたいと思ひます。

いったん災害が起こった時、障害者は大変な困難に直面します。障害を持たない人たちももちろん大きな困難に陥りますが、災害発生時の情報の入手や避難行動のための必要な支援、被災後の日常生活での支援の確保など障害者ならではの困難がたくさん付きます。ゆめ風基金は、災害時における緊急の資金・物資支援ボランティアの派遣はもちろのこと災害が起きる前からの減災・防災の取り組みへの支援、災害に関する研修啓発活動など幅広い活動を行っています。

今、障害者の生活に大きくかかわっている障害福祉サービス事業者の皆さんは、自分の所の障害者の生活支援に責任を持っておられますが、「万一の災害」を想定したゆめ風基金の取り組みにも、是非、積極的にかかわっていただければと思ひます。1つは、「万が一の時」を想定したBCP (Business continuity plan) = 事業継続計画の作成です。障害者の生活に不可欠なサービス(ヘルパー派遣、日中活動、グループホーム、相談支援など)をいかに維持・確保・再建するのかというプラン作りです。そしてそれに連動した備品の確保や避難訓練、避難生活体験なども重要です。また、「万が一の時」を想定した「災害時個別支援計画」の策定も重要です。障害の状況や家族関係、住環境などを踏まえながら、当事者と一緒でできるだけ具体的に災害時の支援計画を作っていくことです。更に、地震対策の一環として、それぞれの住居での家具転倒防止なども進めていきましょう。

同時に、自主的な取り組みだけではなく、行政に対して、災害時の対策を作るときに障害者の参画を求めていくことも必要だと思ひます。災害発生時の情報伝達や避難行動支援、あるいは避難所のバリアフリー化や障害者への合理的配慮の標準化(ガイドライン)づくり、二次避難所(福祉避難所)の有効な仕組みづくりなどなど、多くの課題があるだろうと思ひます。

障害福祉事業者のみなさんは、自分自身の仕事の大事な一環として、これらの課題に、ぜひ積極的に取り組んでいただき、併せて、ゆめ風基金の取り組みに、物心とものご協力を賜りますよう、心からお願いいたします。

「ゆめ風応援団」、まだまだ募集中です！

ながむら じつこ
永村 實子

92号でもお願いしましたが、災害での救援・支援活動では、より小さな範囲での情報収集がとても

重要になります。ゆめ風基金では多発する自然災害に対応するため「ゆめ風応援団」を募集しています。

7月からの3か月で45の団体にお応えいただいておりますが、引き続き募集中です。ぜひご協力ください。

寄せられたメッセージの一部をご紹介します

●弊社でご協力できる事があれば、なんでもおっしゃってください。【大阪市（株）ユーダ】/札幌市東区を

中心に重度の障がいをお持ちの方の支援をしているNPO法人です。2018年北海道胆振東部地震の際

は、大変お世話になりありがとうございます。皆一丸となり一つ一つ前に進んでおります。今後共宜しくお

願いします。【札幌市（特非）自立支援センター歩歩路】/前年度、地域での一般と一緒にの日に福祉避難

訓練を実施することができたのですが、今年度はコロナの関係があるということで福祉避難訓練が中止

になりました。一般の避難訓練は実施されました。当事者の方の「行政はアンケートを取るだけで何もし

てくれない、毎日がっかりしてばかりだ」という言葉が身にしみました。自分たちだけでも一人ずつでも

理解を広げていきたいと思っております。また研修等にも参加できるときには参加させていただきたいと思いま

すのでよろしくお願いいたします。【鳥取県（特非）回想療法センター鳥取就労B 夢工房こぼちゃん】/2019

年の台風19号被害の折、支援していただきました。今後は皆さまの活動のお手伝いできればと思いま

す。【郡山市（特非）ほほえみの間】/主に児童の通所支援を行っている法人です。災害が多くなってい

る近年、このような取り組みは有り難いです。今後とも宜しく願いいたします。【福島県本宮市（特非）

オハナ・おうえんじゃー】/まだまだ障がいの方の避難場所は、なんちゃって状態で現実味がありません。

いつも避難訓練も一般の人のあとに…って言われて、去年は防災室長や障がい課長等に「障がいの人

の所には後から災害が来るんじゃなく、同じ時間に来るんですよ。同じ時間に同じ内容の避難訓練をする

べきだ」と話し合いを設け、実施できましたが、今年はコロナで無しになり、一般のといえは実施されまし

た。本当に悔しいね～といいながらも、待ってられないので少しずつ自分たちでできることを探していま

す。今後ともよろしく願い致します。【泉南市 日本防災士会 大阪府支部泉州ブロック】/平成23年度よ

り年に一度、その年度の収益の1割をゆめ風基金にお送りさせていただいています。当事業所B型継続

支援事業のパン部門のエールシフォンケーキの売り上げ1割です。今後も続けさせていただきます。今回

の大雨では、ため池の決壊の危険、土砂崩れ等の心配がありました。他地域での大きな被害に心が痛

みました。登録よろしく願い致します。【大分県国東市（社福）共生荘 障がい者サポートセンター三

角ベース】/会の活動理念：障がいのある人もない人も、誰もがお互いの立場を尊重し、支えあいながら

安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指す。主な活動：月2回「わたしのたまり場」を開催して

いる。2014年に「逃げ遅れる人々」の上映と小野和佳氏を迎えてトークショーを開催（佐倉市社会福祉協

議会助成金事業）。動員数317名（スタッフ含む）。全国で起きている災害＋コロナ禍、ハンディーがあると

いうだけで、ないがしろにされてはいけない。皆で声をあげていく、そのメンバーでありたい。【千葉県

佐倉市：手をつなぐ・さくら】/お世話になっております。東日本大震災、そして台風19号でのご支援、本当

にありがとうございました。福島で何か、やることがありましたら、ご協力致しますので、お声かけ下さい。

【相馬市（特非）みんなのしあわせプロジェクト 工房もくもく】

令和2年7月豪雨災害について

●NPO法人ワークショップひなたぼっこ（熊本県天草市）

「熊本県集中豪雨による被害と再建まで」 山中 祥悟

当事業所は熊本県天草市で一般就労が困難な障がい者に対して、就労の場を提供する就労継続

支援B型事業を行っています。主に手芸品販売やうどんの店を営業しています。

令和2年7月4日未明に熊本県を襲った集中豪雨により近くを流れる川が氾濫を起こし、当事業所

は約 1 mほどの浸水被害にありました。事業所内の備品や書類、送迎車も水没してしまい全てが使用できない状態となりました。就労で使用していたマシンや冷蔵庫、また製作済みの製品も水没してしまい、被災直後は就労の提供が困難な状態でした。

まずは、家具や備品、事業所内に流れ込み積もっていた土を全て外に撤去する作業から始めました。

近隣の住民の方やボランティアの方などの協力を得て作業を行いました。当時は断続的に激しい雨が降っていた為、作業がはかどらず、全てを出し終えて土を撤去するまでに1週間近く掛かりました。そこで改めて事業所全体の被害状況を確認出来ました。フローリングや机、壁といった部分に破損が多くみられ、時間が経っていたことでカビも発生してしまっていました。

そこから再建をするにあたり、まずはフローリングや壁の修理を行い、役場や他の事業所から机や椅子などの備品を譲って頂きました。また、認定NPO法人ゆめ風基金様よりパソコンや就労で使用する芝刈り機、炊飯器等を支援して頂きました。事業を再開するに際し、書類が水没してしまった為、パソコンで事業に必要な書類の再作成を行う必要がありました。これにも多くの日数が掛かり、その後は手芸品の再製作やうどんの店を再開する為の清掃などが8月末まで続けました。そして9月からやっと以前と同様まで就労を提供することが出来る状態まで再建することが出来ました。

集中豪雨による被災により、一時は途方に暮れる状況に陥ってしまいました。しかし、地域の方々やボランティアの方、また支援して頂いた団体の方々のおかげで無事に再建することが出来ました。今まではテレビで見た光景だったものが現実として目の前に現れた時のどうしたらいいのかという絶望的な感情、また再建にあたり協力して頂いた方々への感謝は言葉に出来ないほど嬉しく、心から感謝しております。

写真：浸水してしまった事業所全貌、棚が崩れ落ち、食器や備品もめちゃくちゃに

「かんしゃ わす しょうがい ひと しあわ りじちよう いまさか たけし
『感謝を忘れず、障害のある人の 幸 せのために 理事長 今坂 豪志

とうじぎようしょ 2かい だ いっかい よんじゆつせんち ゆかうえ しんすい ひかくてき ちい ひがい
当事業所は2階建てで、1階が40cm ほどの床上浸水と比較的小さな被害ですんでおります。しかし、
フローリングの床が盛り上がり、割れ目ができていたり、エアコンの室外機が浸水しエアコンが全て使え
なくなったり、送迎や資材運搬用の車3台が半分ほど浸水し全て廃車になりました。キャンバスは被害に
遭いましたが、利用者さんや職員さんが全員無事(計 2 3 名)であったことは本当に良かったと思ってお
ります。

ひさいご だいじゆうたい えんぼう おお くもとしない しえんぶつし とど
被災後すぐ、大渋滞していたにもかかわらず、遠方より(多くは熊本市内)わざわざ支援物資を届けに
おお かたがた か さいがい うんぱん か どり
多くの方々が駆けつけてくださいました。災害ゴミの運搬のため、2トントラックも貸していただきました。泥
を出す作業や災害ゴミを運ぶお手伝いもしていただきました。職員さんも、今後について大きな不安があ
った中にもかかわらず、泥だらけになりながら、雨に濡れながら、前を向いて日々汗を流していただきまし
た。このように、数えればきりが無いほどのご支援やご協力をいただきました。

かたづ だんらく にしゅうかんご しちがつじゅうしちにち 2かい つか いちにち はや さいかい めざ
片付けがひと段落したのが2週間後の7月17日でした。2階を使って、一日でも早い再開を目指して
おりましたが、エアコンが使えないこと、2階の窓を開けると粉塵が入り込み、目やのどの痛みなど、健康
被害のおそれがあることなどにより、2階を使つての再開は困難と判断しました。そこで、他の場所を借り
て活動を再開する方向で進めることになりましたが、場所がなかなかみつかりませんでした。そんな中、
職員さんたちが様々なアイデアを出したり、取引業者さんが場所を探してくださったりしたおかげで、なん
とか8月17日から活動を再開することができました。また、市内にある病院のご協力により、9月の
1か月間、無償で多目的ホールをお借りすることができました。そのおかげで、キャンバス以外での活動
場所についてじっくり考えることができました。

げんざい すず にかい かせつ ぶれはぶ かつどう ちか とち
現在は、涼しくなってきたこともあり、2階と仮設のプレハブで活動しております。プレハブは近くの土地
をお借りすることができたため設置することができました。このプレハブ設置も、職員さんのアイデア、
せっちひよう しえん ぎようせい りかい じつげん きぞう くらま のうしや
設置費用の支援や行政などの理解があつて実現しました。また、寄贈していただいた車が納車され、
えんぼう かた そうげい さいかい
遠方の方のみ送迎も再開しました。

とうほうじん おお かだい ひと せん ろつびやくまんえんいじょう かいしゆうこうじ ひよう しはら こんかい
当法人にとって大きな課題の一つが、1,600 万円以上する改修工事費用の支払いでした。今回、ゆ
め風基金様から、その費用を全額お貸しいただけることになりました。そのおかげで、利用者さんの幸せ
のための新たなキャンバスづくりに全力を注ぐことができるようになりました。ここまで長々と書いてしま
いましたが、私たちの想いはただ一つです。感謝の気持ちを決して忘れず、これからも、障害のある人の
幸せのために、利用者とその家族と職員の幸せを心から願い、生きる喜びと明日への希望につながる
福祉の実践を通し、心豊かな社会づくりに貢献してまいります。

しゃしんいち みず つ しざい たたみ うきあがった ようす
写真1 水に浸かった資材など②置 が浮き上がった様子

BCP研究会主催の避難所訓練について

じむきよく やはた たかし
事務局 八幡 隆司

「BCP研究会」主催の避難所訓練について

こんかい ころなか ひなんじよ かんが おおさかしない ながいしんたいしょうがいしゃ だい1
今回は「コロナ禍での避難所」について考えよう」と大阪市内の長居身体障害者スポーツセンター第1

かいぎしつ けんきゆうかい めんばー ひなんじよくんれん かいさい
会議室で「BCP研究会」のメンバーと避難所訓練を開催しました。

ごごいちじはん うけつけ かいし さんかしや しょうじょう しら けんこう ひよう
午後1時半に受付を開始。参加者にはコロナの症状がないかどうかなどを調べる健康チェック表を

きにゆう ひせつしよくがたたいおんけい もち けんおん こんかい ますく ちょうかくしょうがい なた ころりよ
記入してもらい、非接触型体温計を用いて検温。今回、マスクは聴覚障害の方がいることを考慮し、

まうすしーど つか にゆうじょう
マウスシールドに付け替えてもらい入場。

はじ だん く た さぎょう こんかい ふうふ しょうかい きょうと
まず始めに段ボールベッドの組み立て作業。今回はメンバーの繁(しげ)さんご夫婦の紹介で、京都で

だん かいしゃ いとな ひなんせいかつ けんきゆう みずたに き だん
段ボール会社を営みながら、避難生活を研究しているという水谷さんに来てもらいました。また、段ボー

ルベッドや間仕切りの提供もしていただきました。段ボールベッドは耐荷重7 tということで非常にしっか

りしています。

その後、イタリアへ視察に行った経験を持つ水谷さんの講演。イタリアでは車いす用トイレや、温かな

食事を作れるキッチンカー、冷暖房の整った各世帯向けのテントやベッドなどが、48時間以内に届け

られることが法律で義務付けられているといいます。

被災した自治体の職員が避難所の管理をするのと違い、イタリアでは多くのスタッフが外部からやって

きて避難所の支援にあたると説明されました。

また日本は畳文化だからベッドがないと思われがちですが、イギリスでは第二次世界大戦中に、避難

した人たちが雑魚寝でいたため、病気になる人が急増、すぐ避難者のためのベッドが用意されたそうで

す。新型コロナウイルスでようやくベッドが当たり前になりつつありますが、災害関連死を減らす意味でも

ベッドは重要です。段ボール協会では1日5000個のベッドが作れる会社が400あまりあり、中小を加え

るともっと段ボールベッドが生産できます。発災日の翌日には提供ができると聞きました。また2 m ×

2 mの区画、1 mの通路を配置すると避難所で避難できる人が少なくなり、より多くの避難所が

必要になることも実感しました。

イタリアには福祉避難所などはなく、みんなと同じ場所で障害者も無理なく生活できるよう配慮がされて

いて、改めて日本の災害対応が進んでいないことを感じました。質疑応答も活発にあり、意義のある

避難所訓練となりました。

写真1 段ボールベッドを組み立てる水谷さん②講演を熱心に聞くみなさん

お詫び

前号(9 2号)の藤原久美子さんが寄稿して下さった「リレーエッセイ」中の優生保護法の年代が間

違っていました。訂正前の年代は「1968～1996」となっていますが、正しくは「1945～1996年」です。

関係者の皆様、被害に遭われた皆様に心よりお詫び申し上げます。

かぜ
ゆめ風ネットからこんにちわ

●ネット奈良（社福）ひまわりの家

せいかつしえんいん つの みちこ
生活支援員 津野 美智子

ひまわりの家は、奈良県のほぼ真ん中の三宅町にあります。奈良県で一番小さい町です。1989年頃、三宅小学校の先生が「子どもたちが卒業した時に、行くことのできる場所をつくりたい。」と言われたことがきっかけで、ひまわりの家をつくる活動が始まりました。2001年、30人の仲間で、知的障害者授産施設（通所）がスタートしました。ひまわりの家がめざすことは、障害者も地域でともに生きていくことです。ひまわりの家には、ピープルファースト(PF)ジャパン全国事務局と自治組織のクローバー会があります。災害が起きた時には、自分達にできることはないかと動き始めます。東日本大震災のこと、P F 事務局局長の中村清司さんは言います。「見に行き、やっぱり避難生活は不自由な生活やな。避難所に行き、たけど馴染めなかったの、ある作業所に避難した人もいた。避難生活、うまくないのがしんどいなあ。」「福島の間が「肉食したい」と言ったので、横浜屠場の人と一緒にいき、肉食べながら交流したなあ。」「（思ひは、）困っている仲間を助けたい。今も、東北の間と交流している。ずっと続けていきたい。」と。クローバー会では、災害が起きた時、ひまわりメンバーに呼びかけ、近くのスーパーや駅前でカンパ活動を行っています。これからも、災害に備えると同時に、災害が起きた時は「困っている仲間を助ける」ために、当事者の方々と一緒に活動していきたいと思ひます。

●愛知（社福）AJU 自立の家

みずたに まこと
水谷 真

AJU自立の家は、障害当事者運動の中から生まれた障害者の自立をめざす団体です。障害のせいや社会のせいにしてあきらめるのではなく、社会に働きかけよう、自分たちが利用することでバリアをなくしていきこうと、1973年から名古屋で活動を始めました。

ひさいちしえん おおきなてんき にじゅうねんまえ とうかいごうさいがい
被災地支援の大きな転機となったのは、20年前9月11日の東海豪雨災害です。

台風たいふうの接近せつきんにより秋雨前線あきさめぜんせんが刺激しげきされ、東海地方とうかいちほうは記録きらくてき的な豪雨ごううとなりました。新川しんかわの破堤はていにより

愛知県西部あいちけんせいぶが浸水しんすいし、この地域ちいきに住む多くの障害者すむおおしょうがいしゃと一時連絡いちじれんらくがとれなくなりました。自身じしんも床上浸水ゆかうえしんすいで

被災ひさいし、車くるまいすのキャスターつが浸きゆうしゆつかったところで救出えーじえいゆーじりつされたのが、A J U 自立いえの家の創立顧問そうりつこもんの山田やまだ

昭義あきよしです。一家いっかを昭和区しょうわくの事務所じむしょに緊急避難きんきゆうひなんさせたところで、山田やまだから「安否確認あんびかくにんがとれない障害者しょうがいしゃを

「れんらく
『連絡れんらくがつきません』と放ほうっておくとは何なにごとか！」と一喝いっかつされました。

これをきっかけに、まず現場げんばに入る、現場げんばで情報じょうほうを得るというスタイルえに切り替きわりました。

以後いご、全国各地ぜんこくかくちで大災害だいさいがいが起きるたびに被災地おに出ひさいちかけ、埋もれた声でを発掘う、支援こえにつなげる活動はくつを

にねんかんてんかい
2年間展開しえんしました。

東日本大震災ひがしにほんだいしんさいでは発災はつさい2日目にちめから現地げんちに入り、被災障害者支援はいに特化ひさいしょうがいしゃしえんした活動とつかを展開かつどう。ゆめ風てんかいや

障害者救援本部しょうがいしゃきゆうえんほんぶの活動かつどうとも連携れんけい。岩手県釜石市いわてけんかまいしに拠点きよてんを置き、「被災地障がい者センターかまいし」で

しえんかつどう 2ねんかんてんかい
の支援活動しえんを2年間展開かつどうしました。

そんなこんなで、今いまも防災セミナーぼうさいを、地元当事者団体じもとどうじしゃだんたいとともに企画きかく、運営うんえいしています。これも障害者しょうがいしゃの

しごと おこな
仕事しごととして行おこなっています。

リレーエッセイ 災害と障害者 第六十五回

わたし ぼうさい
私の防災

ひらもとあゆみ ねん う ま れ せいご 6 かげつ じんこうこきゆうき ななかげつ
平本歩 (1985年生まれ。生後6ヶ月で人工呼吸器をつけ、7カ月で、ミコン

キンショウ ビョウメイ ヨンサイ タイイン チイキ ホイクエン ショウガッコウ チョウガッコウ コウコウ カヨウ ダイガク
ドリア筋症という病名きんしょうがつけられる。4歳びょうめいで退院よんさいし、地域の保育園たいいん・小学校ちい・中学校ほいくえん・高校しょうがっこうへと通しょうがっこうう。大学こうこう

じゆけん しつぱい よびこう かよ ねん ひとりぐ げんざい かくたんきゆういんなど こうしかつどう
受験じゆけんをしたが失敗しつぱいし、予備校よびこうへ通かよう。2011年ねんから一人暮らしひとりぐをする。現在げんざいは、喀痰吸引かくたんきゆういん等の講師活動こうしかつどうをし

わたし にじゅうよじかんじんこうこきゆうき ひとりぐ じょうじ ふたり わたし
私は、24時間人工呼吸器にじゅうよじかんじんこうこきゆうきをつけて一人暮らしひとりぐをしており、常時ヘルパーじょうじが2人ふたりついています。私わたしに

たん きゆういん い けいかんえいよう いるょうてき ひつよう
は、痰たんの吸引きゆういん、胃ろうからの経管栄養けいかんえいようなどの医療的ケアいるょうてきが必要です。

私の防災の取り組み

私は、災害が発生した時にいつでも避難しやすいように、3日分の栄養剤や滅菌精製水を避難トランクに入れてあります。そして医療器具など期限切れになっていないかを3ヶ月に1回点検しています。私は、呼吸器や吸引器を使用しているので、停電するとそれらが使用できなくなり命に関わります。なので、自宅に大容量のバッテリーを2台、外出時に呼吸器を作動させる為に1台所持しています。家にある古い古しの予備のバッテリーを停電時に使用しましたが、1時間もつバッテリーもあれば10分しかもたないバッテリーがあることがわかったので、大容量の「SmartTap」というバッテリーを購入しました。このバッテリーだと、呼吸器・加湿器・吸引器・パルスオキシメーター(指にはさむと動脈血酸素飽和度(Spo2)と脈拍が測定できる装置)全てをつけて8時間作動させることができます。3ヶ月に1回バッテリーを充電していただきます。使い古しの予備のバッテリーは使い物にならないので、今年処分しました。そして、かかりつけ医や呼吸器の業者などが災害時に駆けつけてもらえるように、緊急連絡先を書いた紙を私のベッドの近くに掲示しています。

私の体験

2018年6月18日の大阪北部地震の体験を書きます。

地震が発生した日は、外出予定がなかったので寝ていました。しかも外出しないので外出の用意をしておらず、おまけに吸引器が壊れていて直そうと思い積んでいなかったのも、いざ避難しようとしても避難できる状態ではありませんでした。幸いにも、自宅に被害はなかったので、避難しないといけないという最悪の事態は免れました。しかし、日中のヘルパーが地震の影響で電車が止まり、交代時間に間に合わず、夜勤のヘルパーに残ってもらいました。結局、2時間遅れて来てくれました。夜勤のヘルパーと待機している間、いつでも避難できるように、ストレッチャーと避難かばんとお風呂の洗い台を外に出しました。地震があつてから、常に夜に外出の用意をしたり、カセットコンロを用意したり、避難かばんが重いのでトランクに変えたり…と、地震対策をしています。

2018年9月4日、台風が発生しました。窓ガラスが割れないように私の部屋は飛散防止フィルムを貼っていましたが、お風呂の部屋は窓ガラスが割れない対策をしていなかったため、養生テープを貼りました。今は、お風呂の部屋も飛散防止フィルムを貼っています。14時過ぎに停電と断水がありました。停電したので、呼吸器・吸引器・加湿器を家にある予備のバッテリーに繋いで対応しました。停電後しばらくして、関西電力に呼吸器をつけているので至急復旧して欲しいことを伝える為電話しましたが、混雑していたため繋がりにませんでした。夕方になっても改善しないので、実家に避難しました。翌日、実家の固定電話から再び関西電力に電話して復旧してもらいたいことを伝えました。その夜に復旧しました。その翌日、帰宅するとまだ断水していましたが、15時半には復旧しました。今回の台風でよかったことは、実家も停電していたけど2時間後に復旧して実家に避難できたこと、悪かったことは、停電したことと断水したことと、すぐ復旧するだろうと思い、すぐ実家に避難しなかったことです。夕方暗くなってから避難するのではなく、明るいうちに避難すべきだったなと思いました。

南海トラフ地震について

次に、私が住んでいる地域の災害の被害想定を書きます。

南海トラフ地震が発生した場合の震度は、震度7です。かなり大きく揺れますね。実際に迅速に逃げられるかわかりませんが、できるだけそのようにしたいです。津波の時は、近くのマンションかショッピングセンターの駐車場に避難することになっています。

課題

最後に、防災の課題について書きます。

地域の防災訓練に参加したことがないので、機会があれば参加したいです。

理由は、近隣の人達に私が住んでいる事を知ってほしいし、どこに集まりどこに避難しなければいけないかを把握したいからです。もし避難所で過ごすとしたら、私は常に人工呼吸器をつけていて電源がないので、電源を貸してもらえると助かります。そして、ストレッチャーごと入れるトイレを設置してもらえ

たら嬉しいです。災害時慌てず避難できたらいいなと思います。

カンパをいただいた団体 2020/6-2020/8

お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザーやイベントで集めてくださったりしています。本当にありがとうございます。

- 6/2 特非)自立生活センター富山(富山市)
- 6/3 特非)自立生活センター松山 2月の街頭募金活動分です(松山市)
- 6/4 田辺三菱製薬労働組合(大阪市)
- 6/12 ひまわりの家(奈良県)
- 6/16 特非)介護福祉センター北大阪(摂津市)
- 6/17 さやまのペンギン村 些少ですがお使いください(狭山市)
- 6/19 特非)文福(富山市)
- 6/19、7/22、8/17 健康アメニティたのし
- 6/25 社福)ちいろば会(生駒郡)
- 6/26、7/17、8/20 特非)ホームベース(枚方市)
- 6/30 ゆめ風ネットきくがわ(菊川市)
- 7/1 豊能障害者労働センター(箕面市)古本市の売り上げカンパ
- 7/2 特非)ウイズアス(長田区)
- 7/3 滋賀県障害児者と父母の会連合会(守山市)
- 7/6 有)エフエムジー 住所?
- 7/7 株)かくの木(新座市)、特非)介護福祉センター北大阪(摂津市)
- 7/8 特非)ビーポップ(さいたま市)
- 7/9 特非)阿波グローカルネット(徳島市)特非)自立支援センター歩歩路(札幌市)
- 7/10 株)カタログハウス
- 7/13 グループホーム桃栗館(生野区)
- 7/16 常在寺(東彼杵郡)
- 7/30 株)ユーダ(平野区)
- 7/31 サポートグループ風(鎌倉市)
- 8/21 特非)あおば(福島市)
- 8/24 社福)ひまわり令和2年7月豪雨の被害をみて、障害当事者のかたがたが法人内でカンパ活動されました。少しでもお役に立てますようよろしく願いいたします(奈良県)
- 8/25 特非)自立生活センター松山 7/24、8/22 いよてつそごう前での街頭募金活動です。
- 8/31 「共に歩む」ネットワーク(調布市)

事務局のうごき 2020年6月から9月の動きを一部ご紹介します。

- 6/19 OSN(おおさか災害ネットワーク)世話役会
- 6/24 BCP 会議
- 6/29 理事会、近畿ろうきんさん寄付金贈呈式
- 7/4 東京イベント
- 7/7 「ゆめのたね」あすてる訪問

7/10 ゆめごよみ 92号編集会議①、熊本の災害支援について話し合う「火の国会議」にweb参加
 令和2年豪雨災害の被害状況を各地に確認、被災地域の会員さんにハガキで安否などをおたずね
 7/12 「火の国会議」にweb参加
 7/17 OSN定例会
 7/29 理事会
 8/5 92号編集会議②、ポジ祭実行委員会
 8/6 富山講演会(webにて)
 8/10、17 ビッグアイ主催・障害者防災リーダー研修(収録)
 8/20 3.11from 関西実行委員会参加
 8/24 92号編集会議③
 8/26 理事会
 9/9 92号出稿、9/16 納品、9/17,18 発送作業
 9/16 ポジ祭実行委員会
 9/28 93号編集会議
 写真：①ゆめごよみ発送作業中のボランティアさんたち②ビッグアイでのオンライン講座チラシ

会計報告/救援金別紙

そよ風、つむじ風、六甲おろし / 各地からの風だより/2020..06-08

本年もあたたかいご支援、本当にありがとうございました

◆「共生しなければ命は守られない」を読みながら本当に考えさせられました(荒川区)

◆世の中に言いたいこと、いっぱいあるけど、文になりません(入間市)

◆退職、すぐの自粛生活＝大掃除。中途半端な額ですが家中のあらゆる所にあったお金です。何かの

足しに♡(守口市)

◆コロナでどこも大変です。役に立てると嬉しいです(泉佐野市)

◆公助が頼りにならない中、ゆめ風基金の活動は励みになります(板橋区)

◆こんな時だからこそ支え合いたいです！(川口市)

◆コロナ禍にあって大変な思いをされている方がたくさん。早く安寧をと祈っています(綾歌郡)

◆あちこちで震度3～4の地震がおきていて心配です(豊中市)

◆あの10万円の一部です(他多数)

◆リンパ浮腫の足が日ごとに悪くなり歩くのも大変になってきましたがもう少し頑張ります。80才になり

ました(前橋市)

◆お福分け(吹田市)

◆少額ですがカンパを送ります。私自身も77才になり、障害者1級になってしまいました(枚方市)

◆どんな世の中にあっても弱い人たちを守ってくれる存在であって下さい(長岡京市)

◆先日、NHKラジオに小室等さんが出演されていてうれしかったです。定額給付金の一部です

(村山市)

◆幸せはお金では買えないといいますが、生活にはお金が必要です。少しですがお役に立ててください

(一宮市)

◆いつもありがとうございます。年金が入ったので送金させていただきます。世界が平和で平等でみんな

が健康で幸福でありますように(高槻市)

◆間もなく永さんの命日ですが、6/26に手術して入院の予定は10日間。7/7には退院できる予定ではあ

りますが…(浦安市)

◆国際ヨガデーのヨーガイイベントでのドネーションが集まりました(八重山郡)

◆心に留めるべき情報と、流してよい情報と惑わされることなく落ち着いて自分の頭で考えなくてはあ

かんと自分に言い聞かせる日々です。永さんが今の世のざまをご覧になられたらなんとおっしゃったでし

よう(甲賀市)

◆「ゆめごよみ風だより」皆さんの活動がよくわかり、ありがたいです。少しですが必要な所に使って下さ

い(さいたま市)

◆昨年の台風では千葉県は大変お世話になりました。今度はコロナという災禍とどう向き合うか。正念場

ですね(松戸市)

◆ゆめ風と私をつないでくれた永さんに感謝です(龍ヶ崎市)

◆某大臣の発言に促され「ヘソ曲がり受給」して加えました。厳しい日々が続きます。活動に感謝して

居ます(杉並区)

◆気軽におしゃべりできる日が早く来ますように(多摩市)

◆「忘れられた時に本当に死ぬ」とおっしゃいました。永さん、なかなか死ねませんね。だってあちこちで永さんの話してますもの(川崎市)

◆大変な時期こそゆめ風に思いを込めて(江東区)

◆新型コロナの収束が未だ見えない中でまた各地で災害が発生し心が痛みます。ささやかですが、また送ります。お役立てください(川崎市)

◆「永六輔さんを語る会⑤」を七夕にいたしました。その時のお客様からの募金と売り上げからの寄付です(鎌倉市)

◆次々起こる問題を越えるには皆様の活動が大きな希望となります。ありがとうございます(仙台市)

◆大変な状況でも風のそよぎ、お日様のありがたさ、鳥の声、セミの声…感じて今を生きていきたいです
ね(鎌倉市)

◆7月の豪雨災害で被害に遭われたかたのお役に立てれば(他多数)

◆最近お金のありがたさを実感しました。僅かですが(津島市)

◆この活動を知りませんでした。寄付させていただきます(新宿区)

◆またまた雨の災害！すぐ動く基金様、どうぞよろしく(渋谷区)

◆いつも丁寧な会報の紙面づくりに感心しています。少しですがお役立てください(西宮市)

◆己のやっている事が正しいかどうかわかりませんが…役に立てて頂けたら幸いです(相模原市)

◆猛暑とマスクでつらい夏ですね。事務局のみなさまも体調に気をつけてお過ごしください(平野区)

◆エールの気持ち、送ります♡(若葉区)

ゆめ風ブログにも掲載しています

◆編集後記:折田涼さんの「災害に備えて 第二回」は担当者の都合により延期させていただきます。

◆あたらしい障害者スタッフが増えました。来年こそコロナウィルスが終息し、いつもの生活がおくれますように。

◆ネット一覧 略